

コミュニティ協議会 活動事例集



菊川市

はじめに


菊川市では、平成 18 年度に作成した「菊川市第 1 次総合計画」において、『地域コミュニティを核としたまちづくり』を進める中、「市民参加型の地域づくり組織」として『コミュニティ協議会』（以下、『コミ協』という。）を設置するとともに、その活動を支援する 1%地域づくり活動交付金などの制度を構築しました。これにより、現在では市内 11 地区すべてにおいて、コミ協が設置され、自分たちの地域をより住みよいまちとするための活動が展開されています。

今回、各コミ協活動の中から 1 つずつ、事例を抽出し、地域支援課の担当による聞き取りにより本資料を作成しました。各地区の活動を知る足掛かりとしてご活用いただければ幸いです。

目次

はじめに／目次	1 ページ
西方地区コミュニティ協議会	2 ページ
町部地区コミュニティ協議会	3 ページ
加茂地区コミュニティ協議会	4 ページ
内田地区コミュニティ協議会	5 ページ
横地コミュニティ協議会	6 ページ
六郷まちづくり協議会	7 ページ
河城地区コミュニティ協議会	8 ページ
平川地区コミュニティ協議会	9 ページ
みねだ地域づくり協議会	10 ページ
みなみやまコミュニティ協議会	11 ページ
小笠東地区コミュニティ協議会	12 ページ

<地区名：西方地区コミュニティ協議会>

活動名		東遠まつりへの参加
部門	自由・解決	地域の人々が顔を合わせるきっかけづくりのため
協働相手		西方自治会、わたがし会、郷援隊、地域サポーター、生涯学習推進委員、東遠学園
内 容		
○日時 令和元年11月24日	○場所 東遠学園	○参加者 スタッフ：約20名 来場者：約1,000名
<p>○活動概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域サポーターが、綿菓子・お汁粉・ポップコーン等の模擬店を出店 ・お汁粉については、販売開始早々に売り切れとなった。 ・来場者にコミ協のPR活動として、ポケットティッシュの配布を実施 <p>○今後の予定</p> <p>今後も、コミュニティ協議会による社会福祉活動として参加する。</p>		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・西方地区コミュニティ協議会が、東遠学園の行事に参加し、発達支援や生涯福祉を必要とする人々や実際に支援する人々と交流することで、地域に社会福祉の精神への理解を促した。 ・模擬店は、小さなお子さんに人気で、綿菓子をお客様が作る体験コーナーには長い列ができた。 ・模擬店における売上金は に寄付した。 		


<地区名：町部地区コミュニティ協議会>

活動名		第17回 ふれあい餅つき大会
部門	自由・解決	地域の人々が顔を合わせるきっかけづくりのため
協働相手		子ども会
内 容		
○日時 令和元年12月7日	○場所 堀之内体育館	○参加者 実行委員：40名 参加者：120名
<p>○活動概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全10自治会を3グループに分け、餅つきを実施 ・昨年よりお餅の種類を増やし、あんこ餅、きな粉餅に加え、焼きのり、しょうゆ、大根を用意した。 <p>○今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年は、餅の種類を増やして実施する ・子どもたちに、日本の食文化を伝える活動としたい ・餅つきに参加したことのない子どもを0にしたい 		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・餅つきを通じて地区の大人と子どもたちが触れ合う場となっている。 ・若いお母さんから年配の方まで参加した子どもたちと触れ合うことができた。 		

<地区名：加茂地区コミュニティ協議会>

活動名		人形供養祭
部門	自由・解決	地域のごみ処理活動のため（環境）
協働相手		加茂地区自治会、コミュニティ協議会、生涯学習推進員、社会教育委員、大頭龍神社
内 容		
○日時 5月11～13日	○場所 加茂地区センター	○参加者 延べ83人
<p>○活動概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役目を終えた人形等を引き取り、供養し処分する。 ・地域住民から人形や鯉のぼり等を持ち込んでもらい、供養祭を開催。 ・その後、資源ギャラリーへ搬送して処分する。 ・63世帯から持込みがあり、619件を処理した。 		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・46年続く行事で地域住民から必要とされている。 ・新聞を見て遠方から人形を持ち込む人もいる。 		

<地区名：内田地区コミュニティ協議会>

活動名		「ひこ星」刊行事業
部門	自由・解決	非行防止（健全育成）
協働相手		青少年健全育成委員、PTA、内田小、菊川西中学校、おおぞら幼保園、スポーツ少年団
内 容		
○日時 —	○場所 —	○参加者 原稿寄稿者（小学生218名、PTA正副会長、内田小学校長、教頭、菊川西中学校長、おおぞら幼保園長他）
<p>○活動概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方の小学生が中学校に進学すると、一部の生徒が素行不良となる傾向が見られることから、これを防止するため、文集を発行する。 ・テーマの策定等の編集委員会を開いて文集を発行し、青少年健全育成に貢献する。 ・できあがった冊子は地区内全戸配布を実施 		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・昭和58年初刊の歴史のある冊子 ・子供たちの表現力を養うことができる。 ・非行防止の観点から刊行されており、地区庁内全戸配布を得ている。 		

<地区名：横地地区コミュニティ協議会>

活動名		ふれあい農園
部門	自由・解決	農業体験活動（農業振興）
協働相手		横地自治会、若草子供会、横地保育園
内 容		
○日時 通年	○場所 JA横地支所跡地	○参加者 約50人
○活動概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも植え付けから収穫まで農業体験を子供達と共に実施する。 		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが農業体験に参加し、自ら手を使い、土壌内の生物・微生物に触れることにより、生命の尊厳や命の大切さ等について学ぶ機会となる。 ・地域の大人とのコミュニケーションの場ともなっている。 		

<地区名：六郷まちづくり協議会>

活動名		耕作放棄地対応事業
部門	自由・解決	耕作放棄地の利用促進（農林）
協働相手		牛淵地区住民、まち部、行政
内 容		
○日時 ・ 通年（農園管理） ・ 収穫祭（10月）	○場所 六郷地区内耕作放棄地	○参加者 約50人（収穫祭）
○活動概要 耕作放棄地を市民農園として活用し、その運営、管理、広報等を行う。 その他、栽培講習会への参加や収穫祭の開催をする。		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏になると、草が生い茂っていたが、整備されたことにより市民農園として活用されている。 ・ 地元の方にも参加してもらっており、人が集まり賑やかになっている。 ・ 農村部、まちの高齢者の生きがいがづくりの場となっている。 		


<地区名：河城地区コミュニティ協議会>

活動名		豊かな心を育む部活動事業
部門	自由・解決	子供の歴史・文化理解、宿泊・調理等体験の場
協働相手		小学校、生涯学習員、社会教育委員
内 容		
○日時 8月3～4日	○場所 火剣山キャンプ場	○参加者 河城小4年生35名 スタッフ15名他
○活動概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊体験、散策体験、調理体験等を実施し、地区の文化や伝統の良さ、自ら活動をする楽しさを学ぶ。 ・ ウォーキングの途中には、旧東海道もあり、歴史的な場所に触れた。 		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 河城百選を取り入れて説明することで、郷土愛を育んでいる。 ・ 地域を知ることにより郷土愛を育てるねらい。 		

<地区名：平川地区コミュニティ協議会>

活動名		お菓子クラブ
部門	自由・解決	職業体験学習
協働相手		女性サポーター、たこ満
内 容		
○日時	○場所	○参加者
8月18日、10月2日	ひらかわ会館	約50人
○活動概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・たこ満のシェフの指導の下、子供達と共にケーキ作りを行う。 		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子作りは、将来なりたい職業で常に上位5位に入る人気職業であり、子供たちの夢の一步に取り組んでいる。 		

<地区名：みねだ地域づくり協議会>

活動名		福祉見守りマップ更新ミーティング
部門	自由・解決	福祉及び防災体制の強化
協働相手		危機管理課、社会福祉協議会、地区防災連絡会、消防団
内 容		
○日時 7月7日	○場所 みねだ会館	○参加者 73名
○活動概要		
<ul style="list-style-type: none">・近隣の高齢者や要援護者の見守り体制の充実を図るため、見守りマップを更新する。・ブレインストーミングを実施し、参加者一人一人が役割を考える機会とする。		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none">・要援護対象者は変動するため、見守りマップは毎年更新する必要がある。・本マップを自治会長に提出することで、有益な資料として活用できる		

<地区名：みなみやまコミュニティ協議会>

活動名		みなみやまわくわくキッズ
部門	自由・解決	歴史・文化遺産の継承に関すること
協働相手		地域の住民・中学生・高校生
内 容		
○日時 企画 5 回 他読み聞かせ年間 15 回	○場所 芝生広場、小笠南小等	○参加者 各回20名～40名程度
○活動概要 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みを中心に家庭にこもりがちなお子たちに参加を呼びかける。 ・水遊びやランチなど企画を実施し、学校ではできない活動に学年の異なる子供たちがグループで取り組むことを目指した。 		
		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・大きい子が小さい子の面倒を見るなど普段と違う一面が見えた。 ・子どもたちだけでなく親たちの交流の場となる。 		

<地区名：小笠東地区コミュニティ協議会>

活動名		オープンくすりん
部門	自由・解決	高齢者が元気にいきいきと暮らせるまちづくり
協働相手		小笠東地区自治会、フレンズバンド、くすりん踊りの会、くすりん歌う会
内 容		
○日時 毎月第2・3・4木曜日 (13:00～16:00)	○場所 くすりん	○参加者 地域の市民
○活動概要 <ul style="list-style-type: none"> ・予約がなくても入れるとしても、なかなか入りづらいため、歌や踊りをするグループを募集した。 ・また、お茶やお菓子を用意して、話をする場所を設けた。 ・第2週：踊り、第3週：軽音楽、第4週：歌う会のテーマで毎月実施し、50人程度の参加があり、12月には、クリスマス会を実施した。 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
PRポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ・くすりんへ行けば、何かやっているという居場所づくりをする。 ・地域のイベント等に気軽に参加したくなるような人間関係ができる。 ・昨年は、NHKのど自慢大会の予選に参加した。 		